

長 坂



平戸市立生月中学校
学校だより第32号
(令和2年 1月)

文責 西澤 庄藏

給食集会があり、改めて「食」への感謝の念をもちました。



01/22(水)給食委員会主導の給食集会(生徒集会)を実施しました。この集会は、学校給食の意義や栄養素の正しい理解を深めることを目的に開催しました。あえてアナログな掲示物を作成し、クイズ形式で発表しました。身近な野菜や果物でも知らないことが多く、興味をそそられるものばかりでした。

集会では給食調理場の調理員さんをお招きしました。「食缶が空(残食ゼロ)だと、とても嬉しく、作りがいを感じる」など、作り手の思いも聞くことができました。最後に寄せ書きを贈呈し、この集会を締めくくりました。

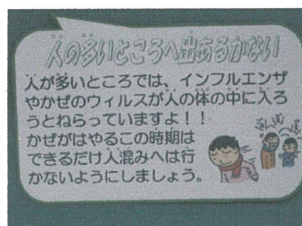
集会そのものはお世辞抜きに素晴らしいものでした。その分、生徒は、かなりの時間を割いて模造紙の準備や舞台発表のリハーサルなどに力を入れてきました。ただ、それぞれの持ち時間はわずかで、少々もったいない気もしました。その振り返りとして、集会で用いた掲示物は本館1階廊下に掲示していますので、保護者の皆様も、ご来校の際に目にいただければ幸いです。学校図書館に食育コーナーを設置したり、校内放送で「食」に関する歌が流れたり、しばらく「食」を再考する機会が続きます。



インフルエンザの流行期を迎えました。予防に万全を尽くしましょう。

先週は、一気にインフルエンザ罹患者が増え、油断ならない状態が続きました。

目下「手洗いをする」「休み時間ごとに教室の換気をする」を呼びかけています。給食に関しても当分「前向き給食」で飛沫感染防止に万全を尽くしたいと思います。また、「お茶の飲むこと」など、のどを適度に加湿することもインフルエンザ予防に有効だと言われています。ご家庭でも登校時の水筒持参のチェックをお願いします。



←写真は保健室前の掲示物からです。

十分な睡眠時間の確保、人混みを避け行動を慎むことも掲示されています。

関係して「ほけんだより 12/04号、01/09号」も再読してください。

【徒然なる思いから】 新聞の寄稿文に思いを馳せて (西日本新聞 2019/12/18 の記事から)

(中略) その英語に新しい言葉が広まっている。they。「彼ら、彼女ら」と学校で習ったけど、最近男女を区別せず代名詞として、he(彼)やshe(彼女)の代わりとして使うそう。

性的少数者への偏見や差別をなくすためだという。自分の気持ちとは違う性別に当てはめられ、不快な思いをすることがないように、と。ややこしいが、その曖昧さがいいのだろう。米国の辞書出版社が「今年の言葉」に選んだ。

性別の記入欄で「男性・女性・その他」を選ぶことも増えた。今どき、性別にこだわらないのがエレガントか。ちなみに、日本語の「〇〇さん」は、男性・女性・それ以外、既婚・未婚の区別なく使える。この曖昧さは世界に誇れるかも。

この「長坂」でも男女区別なく「〇〇さん」を用いています。今後も使用していく上での後ろ盾を得た思いでした。